

第四十四回 帝國議會 貴族院議事速記録第十二號

大正十年二月十八日(金曜日)

午前十時五分開議

議事日程 第十二號 大正十年二月十八日

午前十時開議

第一 子爵松平康民君、中村純九郎君請暇ノ件

第二 大正九年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)審査期  
限ヲ定ムルノ件

第三 大正十年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)審査期  
限ヲ定ムルノ件

第四 馬籍法案(政府提出) 第一讀會

第五 一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案(政府提出、  
衆議院送付) 第一讀會

第六 無盡業法中改正法律案(政府提出、  
衆議院送付) 第一讀會(續) (委員長報告)

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔瀬古書記官朗讀〕

去ル十五日本院ニ於テ採擇スヘキモノト議決シタル弘前田代間輕便鐵道敷

設ノ請願外五件ノ請願ハ各意見書ヲ附シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案

一昨十六日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

無盡業法中改正法律案可決報告書

同日豫算委員分科會ニ於テ當選シタル主査ノ氏名左ノ如シ

第一分科主査 伯爵柳澤 保惠君 第三分科主査 岡田 良平君

第四分科主査 男爵村上敬次郎君 第五分科主査 小松謙次郎君

第六分科主査 藤田 四郎君

同日豫算委員長ヨリ第一分科擔當委員第三分科兼務委員子爵榎本武憲君ヲ

第三分科擔當委員第一分科兼務委員ニ變更シ又分科擔當委員ノ兼務ヲ左ノ

如ク決定セル旨ノ報告書ヲ提出セリ

第二分科擔當委員 伯爵 松 浦 厚 君

第三分科兼務

同日請願委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願文書表第五回報報告書

昨十七日豫算委員分科會ニ於テ當選シタル主査ノ氏名左ノ如シ

第二分科主査 伯爵松浦 厚君

同日豫算委員長ヨリ分科擔當委員ノ兼務ヲ左ノ如ク決定セル旨ノ報告書ヲ

提出セリ

第四分科擔當委員 今 井 五 介 君

第五分科兼務

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

大正九年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

大正十年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案

會計法改正法律案

會計檢査院法中改正法律案

明治三十九年法律第三十四號中改正法律案

臨時國庫證券法中改正法律案

鐵道敷設法改正法律案

本日第九部ニ於テ豫算委員男爵小早川四郎君ノ補闕選舉ヲ行ヒシニ其ノ結

果男爵藤井包總君當選セリ

○議長(公爵徳川家達君) 去ル十五日本院ノ議決ニ基キマシテ、翌十六日議

長ハ東宮御所ヘ參上致シマシテ、直ニ皇太子殿下ニ拜謁仰付ケラレマシテ、

御前ニ於テ本院ノ決議ノ趣ヲ言上イタシマシタル處、優渥ナル御沙汰ヲ拜シ

マシタ、是ヨリ御傳達ヲ致シマス

總員起立

深ク貴族院ノ厚意ヲ謝ス

〔一同敬禮〕

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、去ル十五日本院議

員ニ當選セラレマシタ子爵牧野一成君ノ席次ハ、子爵渡邊千冬君ノ次席ト確定シ、其部屬ヲ第九部ニ定メマシタ、一昨十六日岡野敬次郎君公務ノ爲メ、裁判所構成法中改正法律案外一件特別委員ノ辭任ヲ申出デラレマシタ、許可ヲ致シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕  
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、其補闕トシテ山之内一次君ヲ指名イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第一、子爵松平康民君、中村純九郎君請暇ノ件、松平子爵病氣ニ付會期中、中村君病氣ニ付二十一日間ノ請暇ゴザイマス、何レモ許可ヲ致スコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕  
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 次ハ諸君ニ於テ御異議ガナケレバ、日程第二、第三ハ一括シテ議題ト致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕  
○議長(公爵德川家達君) 日程第二、大正九年度歳入歳出總豫算追加案第一號、第三、大正十年度歳入歳出總豫算追加案第一號審査期限ヲ定ムルノ件、本日モ御異議ガナケレバ通牒文ノ朗讀ハ省略イタシマス

〔左ノ通牒文ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ做フ〕  
(第一號)大正九年度歳入歳出總豫算追加案  
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也  
大正十年二月十七日

貴族院議長公爵德川家達殿  
衆議院議長 奧 繁二郎

(第一號)大正十年度歳入歳出總豫算追加案  
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也  
大正十年二月十七日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 奧 繁二郎

○議長(公爵德川家達君) 内閣總理大臣原敬君

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 諸君、唯今議題ト相成リマシタ所ノ豫算追加案デアリマス、此費用ハ御承知ノ通り今回皇太子殿下海外御巡遊ノコトニ相成リマシテ、殿下御搭乗相成リ、竝ニ供奉致スニ隻ノ軍艦派遣ノ費用デアリマス、此以外ニ在外公館ニ於テ、多少ノ費用ヲ要スルノデアリマスケレドモ、是ハ追ッテ御協贊ヲ經ルコトニ致シタイト思フノデアリマス、軍艦派遣在外公館費用以外ノ分ハ、皇室ニ於テ御支辨相成ルコトニナッテ居ルノデアリマス、申スマデモナク、是マデ皇族方ニハ屢々海外御巡遊ノコトモアリ、又御留學等モアリマシタノデアリマスガ、皇太子殿下ノ海外御巡遊ト云フコトハ、全ク今回ヲ以テ初メト致スノデアアル、今回ハ軍艦ニ依リ歐洲ニ赴カレ、先ヅ同盟國タル英國ヲ御訪問ニ相成リ、ソレヨリ諸國ニ御巡遊ノ御都合ト承ルノデアリマスルガ、固ヨリ御見學ノ爲デアリマス、併シ同時ニ友邦國ノ元首竝ニ大統領ヲ御訪問ニ相成ルコトト承ルノデアリマス、斯ノ如ク皇太子殿下御巡遊ニ相成ルト申スコトハ、將來殿下ノ御參考ニ相成ルコト無論多々アルコトト拜察イタスノデアリマス、而シテ又斯ノ如キ海外御巡遊ヲ御許シニ相成リマシタ所ノ陛下ノ大御心ヲ拜察イタシマシテ、我々ハ誠ニ感激ノ至リニ堪ヘヌ次第デアリマス、願クハ御審査ノ上速ニ御協贊アラムコトヲ深ク希望スル次第デアリマス

○子爵前田利定君 議事日程第二、第三ノ豫算追加案、審査期限ノコトニ付テ申述ベタイト思ヒマス、此兩案ノ審査期限ハ別ニ定メマセヌデ、是ヨリ直ニ豫算委員會ヲ開クコトヲ御許シ願ヒマシテ、開會ノ上、審議結了次第、本會議ニ報告致シタイト思ヒマス、何卒豫算委員ノ退席ヲ御許シ願ヒタイト思ヒマス

○伯爵柳原義光君 賛成イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 前田子爵ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、就キマシテハ豫算委員長ノ報告ニ接スルマデ暫時休憩ヲ致シマス

午前十時十五分休憩

午前十時四十三分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲイタシマス

〔瀬古書記官朗讀〕

本日豫算委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

大正九年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)大正十年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)可決報告書

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ會議ヲ開キマス

○子爵前田利定君 此際議事日程ヲ變更セラレマシテ、大正九年度歳入歳出總豫算追加第一號、及ビ大正十年度歳入歳出總豫算追加第一號、此兩案ヲ直ニ議題ニ供セラレムコトヲ望ミマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 前田子爵ノ議事日程追加ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 大正九年度歳入歳出總豫算追加案第一號、大正十年度歳入歳出總豫算追加案第一號、會議、豫算委員長ノ報告ヲ求メマス

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

一大正九年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

一大正十年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通リ決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十年二月十八日

豫算委員長 子爵前田 利定

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵前田利定君演壇ニ登ル〕

○子爵前田利定君 大正九年度歳入歳出總豫算追加第一號、及ビ大正十年度

歳入歳出總豫算追加第一號、此兩案即チ皇太子殿下ノ御外遊アラセテレマスニ付マシテノ外國派遣ノ軍艦費、此經費ヲ議了イタシマシテ、豫算委員會ノ報告ヲ茲ニ致シマス云フコトハ、私ノ大ニ光榮トスル所デアリマス、此兩案ノ内容ニ付マシテハ、先刻總理大臣ヨリ此議場ニ於テ御説明ゴザイマシタガ故ニ、是ハ省略イタシマス、又其數字モ皆様ノ御手許ニ案ガ廻リ居リマスルカラ、御覽濟ノコトトハ存ジマスケレドモ、念ノ爲ニ申上ゲマス、即チ大正九年度歳入歳出總豫算追加第一號案中ノ、歳入臨時部前年度繰入金百十五萬七千六十一圓、之ニ對シマシテ歳出臨時部海軍省所管外國派遣軍艦費百十五萬七千六十一圓、歳入歳出トモ同額デゴザイマス、又大正十年度歳入歳出總豫算追加第一號、此案中ノ歳入臨時部前年度剩餘繰入金三百二十六萬六千二十三圓、之ニ對シマシテ歳出臨時部海軍省所管外國派遣軍艦費、三百二十六萬六千二十三圓、是亦歳入歳出トモ同額デアリマス、豫算委員會ハ先刻本會議休憩中ニ即刻開會イタシマシテ、先ツ總理大臣ヨリ本案ノ内容ニ付マシテ、更ニ詳細ナル説明ガゴザイマシタ、而シテ是ハ分科ニ移スヤ否ヤヲ諮リマシタ所ガ、總會ニ於テ討議採決スベシト云フコトニナリマシテ、直ニ討議ニ入りマシタ、數名ノ之ニ對シマスル賛成ノ御演說ガアリマシタ、是等ノ諸君ノ御賛成ノ趣旨ハ、何レモ誠心誠意心ノ底ヨリ我が皇太子殿下ノ御外遊ヲ慶賀シ奉リマシテ、而シテ一路御平安ニ御歸朝遊バサレムコトヲ祈ルト云フ趣旨ニ皆一致シテ居リマシタ、他ニ何等ノ意見モ出マセズシテ、採決イタシマシタ所ガ全會一致ヲ以テ兩案ヲ可決相成リマシタ次第デアリマス、中スモ畏キコトデゴザイマスガ、我が皇太子殿下ニ於カセラレマシテハ陽春三月三日ノ佳辰ヲ御トシ遊バサレマシテ、御外遊ノ途ニ御就キニナルト云フコトハ、我々國民ト致シマシテ、誠ニ慶賀措ク所ヲ知ラスノデゴザイマス、尤モ今日マデ我が皇族ノ宮殿下ニ於カセラレマシテハ、或ハ皇室ノ御代理トナリ、或ハ御職務上、或ハ御見學トシテ、海外ニ御出張ニナリマシタコトモ數々アルコトデハゴザイマスケレドモ、皇太子殿下ノ御身ヲ以テ歐羅巴ニ御外遊遊バサレルト云フコトハ、有史以來未曾有ノコトデゴザイマシテ、又皇室ノ御盛事ト洵ニ慶賀スル次第デゴザイマス、而シテ殿下御見學ノ御途スガラ、英國ヲ初メト致シマシテ、其他ノ國ノ元首大統領ヲ御訪問ニモ相成ルト云フコトデアリマス、之ニ依リマシテ我が皇室トノ御間柄モ益々敦ウナラセラル、ハ申ス迄モナイ、又國ノ交誼ノ上ニ於キマシテ、更ニ親交ヲ加ヘサセラ

ル、ト云フコトハ、國家ニ取リマシテモ、我々國民ノ上ニ取リマシテモ、洵ニ欣ブ次第デゴザイマス、併ナガラ九重雲深キ所ニ生ヒ立チ給ヒタル尊貴ノ御身ヲ以チマシテ、煙波萬里ノ御旅路ニ上ラセラレルト云フコトハ、誠ニ臣民トシテハ恐レ多イコトニ感ズルノデゴザイマス、併ナガラ此ノ殿下ノ御巡遊ニ依リマシテ、我々深仁厚澤ヲ被ムルコトハ寔ニ感激ニ堪ヘヌ次第デゴザイマス、更ニ又殿下ノ御外遊ニ付マシテ上 陛下ニ於カセラレマシテ、之ヲ御聽許遊バシマシタル所ノ大御心ヲ拜察シ奉ルニ、誠ニ恐懼ニ堪ヘヌノデゴザイマス、惟フニ歐洲ノ文明ハ數年打續キマシタル所ノ鐵火ノ爲ニ、大ニ荒ンデ居ルコトデアラウト思フノデアリマス、併ナガラ其ノ荒ンダル所ノ荒野ノ中カラ、新シキ文化ノ嫩草ノ芽グミ出シツ、アルデアラウト思フノデアリマス、我が皇太子殿下ガ之ヲ御覽ジ遊バサレマシテ、必ズヤ御胸裡ニ御參考ノ御一端ニモ相成ルコトガアラウカトモ拜察スルノデアリマス、更ニ又世界最近ノ大勢ヲ御目擊遊バスコトニ依リマシテ、大ニ其ノ御見聞ヲ御廣メ遊バサレルト云フコトハ、洵ニ結構ナコトニ存ジ上ゲルノデアリマス、春風春水靜ニ御艦ヲ御送り奉リマシテ、御恙ナク歐羅巴ノ地ニ御著キアリマシテ、ソレトノ御旅程ヲ重ネラレテ、陸ノ御旅ニモ、海ノ御旅ニモ一路御平安ニ芽出度初秋清涼ノ候ニ御歸還相成ルヤウニ我々國民ハ神カケテ禱リ奉ル所デアリマス、常ニ天佑ヲ保有セラル、所ノ我が 天皇陛下ノ御稜威ニ依リ、我が 皇祖皇宗ノ神明ハ、我々國民ノ赤誠ヲ以テ案ジ奉ル所ノモノハ之ヲ納ラレテ、必ズヤ殿下ノ御身ノ上安ラケク御加護遊バサレルコトデアラウト云フコトヲ、我々國民ハ信ジテ疑ハナイ所デアリマス、何卒滿場ノ諸君ニ於カセラレマシテモ、豫算會同様、全會一致ヲ以テ此案ニ對シ御賛成アラムコトヲ希望スル次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ御諮リヲ致シマス、唯今豫算委員長ノ報告セラレマシタ總豫算追加案、兩案共ニ一括シテ問題ト致シテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 兩案全部ニ付マシテ採決ヲ致シマス、兩案全部ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

總員起立

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 全會一致ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第四、馬籍法案、政府提出、第一讀會

馬籍法案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正十年二月十四日

内閣總理大臣 原 敬  
陸軍大臣 男爵田中義一

馬籍法案

第一條 馬籍ニ關スル事務ハ市町村長之ヲ管掌ス

第二條 馬籍ハ命令ノ定ムル所ニ依リ市町村内ニ於テ飼養スル馬ニ付一頭毎ニ之ヲ作ル

馬籍ハ編綴シテ帳簿ト爲ス

第三條 馬籍ニハ馬ニ付左ノ事項ヲ記載ス

- 一 名稱
- 二 性別
- 三 種類
- 四 毛色
- 五 特徵
- 六 產地
- 七 生年月日
- 八 體格
- 九 飼養場所
- 十 所有者ノ氏名名稱
- 十一 所有者ノ住所又ハ居所
- 十二 管理人アルトキハ管理人ノ氏名名稱及住所又ハ居所
- 十三 履歷
- 第十四條 前條ノ規定ニ依ル馬籍ノ記載ハ届出ニ依リ之ヲ爲ス但シ體格ノ記載ハ明ケ三歳以上ノ馬ニ付第十一條ノ検査ノ結果ニ依リ之ヲ爲ス
- 第十五條 馬籍簿ヲ閱覽シ又ハ馬籍ノ謄本若ハ抄本ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ勅令ノ定ムル手数料ヲ納付シテ之ヲ請求スルコトヲ得

第六條 前條ノ手數料ハ市町村ノ收入トス

第七條 馬ノ所有者第二條ノ規定ニ依ル馬飼養ノ市町村ニ住所ヲモ居所ヲモ有セサルトキハ届出及検査ニ關スル事項ヲ處理セシムル爲其ノ市町村ニ住所又ハ居所ヲ有スル者ヲ其ノ日ヨリ起算シ三十日以内ニ馬ノ管理人ト定メ其ノ馬籍ヲ管掌スル市町村長ニ之ヲ届出ツヘシ

第八條 馬出生シタルトキ又ハ本法ノ適用ヲ受ケサル馬其ノ適用ヲ受クルニ至リタルトキハ其ノ所有者ハ其ノ日ヨリ起算シ三十日以内ニ第三條第一號乃至第七號及第九號乃至第十三號ニ掲クル事項ヲ其ノ馬籍ヲ管掌スル市町村長ニ届出ツヘシ

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ馬ノ所有者ハ其ノ日ヨリ起算シ三十日以内ニ其ノ旨ヲ其ノ馬籍ヲ管掌スル市町村長ニ届出ツヘシ但シ第四號ニ該當スル場合ニ在リテハ其ノ際ノ所有者ヨリ届出ツヘシ

一 馬ヲ所有スルニ至リタルトキ

二 馬ノ飼養場所ヲ他ノ市町村ヨリ移シタルトキ

三 馬死亡シタルトキ

四 第十五條第三號ニ該當スルニ至リタル場合ヲ除クノ外本法ノ適用ヲ受クル馬其ノ適用ヲ受ケサルニ至リタルトキ

五 前四號ニ掲クル場合ヲ除クノ外馬籍ニ關シ届出ヲ要スル事項ニ變更アリタルトキ

前項第一號又ハ第二號ニ該當スル場合ニ於ケル届出ニハ命令ノ定ムル場合ヲ除クノ外馬籍簿本ヲ添附スヘシ

第十條 前二條ノ規定ニ依ル所有者ノ届出ノ義務ハ馬ノ管理人ヲ置キタル場合ニ於テハ之ヲ管理人ノ義務トス

第十一條 主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ馬ノ検査ヲ行フコトヲ得

第十二條 前條ノ検査ヲ受クル馬ノ所有者又ハ管理人ニハ勅令ノ定ムル所ニ依リ手當及旅費ヲ給ス

第十三條 第十一條ノ検査ヲ拒ミ、妨ケ又ハ忌避シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十四條 正當ノ理由ナクシテ第七條乃至第九條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲サル者ハ十圓以下ノ過料ニ處ス

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ付之ヲ準用ス

第十五條 本法ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル馬ニ付之ヲ適用セス

一 國ノ所有ニ係ルモノ

二 陸軍軍人ノ所有ニ係ルモノニシテ其ノ職務上要スルモノ

三 明ケ三十歳以上ノモノ

第十六條 本法ニ於テ市町村又ハ市町村長トアルハ市制第六條ノ市及市制

第八十二條第三項ノ市ニ在リテハ區又ハ區長トシ北海道區制又ハ沖繩縣

區制ニ依ル區ニ在リテハ區又ハ區長トシ市制ヲモ町村制ヲモ施行セサル

地ニ在リテハ市町村ニ又ハ市町村長ニ準スヘキモノトス

第十七條 主務大臣ハ特別ノ事情アリト認ムル場合ニ於テハ本法ヲ適用セ

サル地域ヲ指定スルコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治二十九年法律第六十六條ハ之ヲ廢止ス

本法施行ノ際現ニ馬ヲ所有スル者ハ本法施行ノ日ヨリ起算シ三十日以内ニ命令ノ定ムル所ニ依リ第七條及第八條ノ規定ニ準シ届出ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テハ第十四條ノ規定ヲ適用ス

從前ノ規定ニ依ル馬名簿ハ之ヲ本法ニ依ル馬籍ト看做ス但シ本法ニ依リ馬籍ニ記載スヘキ事項ニシテ馬名簿ニ記載ナキモノハ前項ノ届出ニ依リ之ヲ記載スヘシ

〔國務大臣男爵田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵田中義一君) 本案提出ノ理由ヲ申述ベマス、本案ハ馬ノ系

籍ヲ登錄イタシマシテ、常ニ其ノ狀態ヲ明瞭ニ致スト云フコトハ、軍事上ニ

於キマシテハ動員又ハ補充上ノ計畫ハ、之ニ依テ基礎ガ定マル次第デアリマ

ス、産業上ニ於キマシテハ、馬政ノ確立ヲ期スルト云フコトハ申ス迄モナイ

コトデアリマスガ、尙ホ此ノ馬ノ取引ノ上ニ於テ、公正ニシテ且ツ其ノ圓滑

ヲ圖リ又馬ノ利用ト云フコトノ用途ヲ振起セシメル上ニ於テ、最モ必要ナコ

トデアラウト存ズルデアリマス、要スルニ此案ハ國防ノ見地カラ見マシテ

モ、又産業ノ振興ト云フ上カラ見マシテモ、共ニ最モ必要ナルコトト心得ル

ノデアリマス、以前明治二十九年ニ戰時軍馬ノ補給ト云フコトヲ確實ニセシ

メルト云フ目的ヲ以テマシテ、馬匹ノ調査及ビ検査ニ關スル法律ガ制定セラレタノデアリマス、去ナガラマダ馬籍ノ設定ト云フコトニ關シマシテハ何等規定ガナイノデアリマス、從ツテ此ノ法律ノ效果ガ今日迄十分徹底セスト云フコトヲ甚ダ遺憾ニ存ジテ居ル次第デアリマス、民間ニ於キマシテモ此ノ馬籍ノ必要ト云フコトハ疾クニ認メテ居リマシテ、營業者カラ屢、政府ニ建議ヲ致シテ居リマス、又地方ニ依リマシテハ地方限リデ馬籍取締規則ト云フモノヲ拵ヘテ居ル所モアリマス、去ナガラ其ノ規定ガ區々多様ニ互リマシテ之ヲ取扱ヒマスル上ニ於テ不利益ト不便利ガ洵ニ尠ナクナイノデアリマス、ソレ故ニ此ノ馬籍法ヲ設ケマシテ之ヲ統一スルト云フコトガ、總テノ要求ニ合致スルコトダト心得マシテ、本案提出ヲ致シタ次第デアリマス、ドウゾ御審議ノ上ニ御協賛ヲ御與ヘ下サルコトヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發議モナイト認メマスカラ、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔瀬古書記官朗讀〕

- 馬籍法案特別委員
- |           |          |          |
|-----------|----------|----------|
| 伯爵勸修寺 經雄君 | 子爵柳生 俊久君 | 子爵西尾 忠方君 |
| 男爵村木 雅美君  | 男爵名和 長憲君 | 男爵眞田 幸世君 |
| 男爵坪井 九八郎君 | 犬上 慶五郎君  | 土田 萬助君   |

○議長(公爵徳川家達君) 日程第五、一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案  
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十年二月十五日

衆議院議長 奧 繁三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案

第一條 市町村立小學校正教員ニシテ徵兵令第十四條ノ規定ニ依リ一年現役兵トシテ現役ニ服スル者ノ服役中ノ俸給ノ爲市町村ニ於テ要スル費用

ハ國庫之ヲ負擔ス

第二條 前條ノ規定ニ依リ國庫ノ負擔スル金額ハ毎年度之ヲ市町村ニ交付ス  
第三條 本法ノ適用ニ付テハ市町村組合又ハ町村組合ハ之ヲ市町村ト看做ス市制又ハ町村制ヲ施行セサル地域ニ於ケル市町村ニ準スヘキ公共團體、其ノ組合又ハ小學校設置區域亦同シ  
第四條 本法ニ依リ俸給費ヲ國庫ニ於テ負擔スル小學校正教員ハ市町村義務教育費國庫負擔法ノ適用ニ付テハ同法第三條ノ正教員ノ數ニ之ヲ算入セス

附則

本法ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣中橋徳五郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(中橋徳五郎君) 此ノ一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案ヲ提出致シマシタガ、是ハ去ル大正七年ニ徵兵令ノ改正ガアリマシタノデ、從來師範學校ヲ卒業シマシタ者ハ六週間現役ニ就役シテ居ッタ譯デアリマス、ソレガ今回ノ改正ニ依リマシテ一年ノ現役ニ服スルト云フコトニナリマシタ、從來六週間現役ノ時分ニハ、其六週間ノ俸給ノ負擔ヲ市町村ヲ致シテ居リマシタコトデアリマシタガ、今回ハ一年ニナリマシタノデ、其負擔ヲ市町村ノ負擔ニシマスルト云フコトハ、可ナリ重クアリマスカラ、其負擔ヲ全部國庫ニ於テ支辨ヲ致シタイ、勿論俸給ノ全額デハアリマセヌ、八割マデノモノヲ支給ヲ致シタイト云フコトノ法案ヲ提出致シタ次第デアリマス、其經費ハ本年度デハ四十九萬圓餘ニナツテ居リマス、デ總豫算ニ計上ヲ致シテ居ル次第デ其豫算ト是ガ相俟ツテ行クモノデアリマスルカラ、ドウゾ御審議ノ上ニ御協賛アラムコトヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀致サセマス

〔瀬古書記官朗讀〕

- 一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案特別委員
- |           |          |         |
|-----------|----------|---------|
| 侯爵花山院 親家君 | 子爵清岡 長言君 | 大久保利 武君 |
| 男爵阪井 重季君  | 男爵岩 佐 新君 | 高田 早苗君  |
| 田所 美治君    | 大谷 嘉兵衛君  | 佐藤友右衛門君 |

○議長(公爵徳川家達君) 日程第六、無盡業法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、渡邊子爵

無盡業法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十年二月十六日

右特別委員長

子爵渡邊 千冬

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵渡邊千冬君演壇ニ登ル〕

○子爵渡邊千冬君 無盡業法中改正法律案ノ委員會ノ經過及ビ結果ヲ御報告ニ及ビマス、此ノ改正案ハ無盡業法第九條ニ規定ヲ致シテアリマス所ノ、無盡業者ノ營業上ノ資金運用ノ方法ニ加ヘテ制限ヲ緩和スルト云フノガ其ノ趣旨デアリマス、無盡業法ノ第九條ニハ、其一項ニ一號ヨリ四號ニ互リマシテ、其制限ガ列記ヲ致シテアルノデアリマス、而シテ今回ノ改正案ハ其中第二號第三號ヲ改正致シ尙ホ第二項ヲ附加ヘルノガ其趣旨デアリマス、此ノ第二號ニハ現行法ニ於キマシテハ「前號ノ有價證券ヲ擔保トスル貸付」ト云フコトニナツテ居リマスガ、之ニ有價證券又ハ不動産ヲ擔保トスル貸付ヲ許可スルト云フノガ此趣旨デアリマス、前號ノ有價證券ト申シマスルノハ、第一號ニ「國債證券地方債券其ノ他特別ノ法令ニ依リ設立シタル會社ノ債券又ハ株券」ト云フコトニナツテ居リマス、此改正ノ理由ハ是等ノ有價證券ハ中ス迄モナク、第一流ノ堅固ナル有價證券デアリマスルカラ、無盡業者ニ之ヲ擔保トシテ金融ヲ依頼致サナクテモ、銀行又ハ其他ノ金融業者ニ於テ、是等ヲ喜ンデ擔保トシテ融通ヲ致シテ呉レマスカラ、實際ニ於テモ從來是等ノ有價證券ヲ擔保トスル貸付ハ餘リ澤山ナカッタサウデアリマス、從來ニ於キマシテハ却ッテ不動産ヲ擔保トスル貸付ノ方ガ多クアッタサウデアリマス、サウ云フヤウナ譯デアリマスルカラシテ、茲ニ不動産ヲ擔保トスル貸付ヲ許シマスルコトハ、加入者ノ方ニ於キマシテモ又無盡業者ノ方ニ於キマシテモ、多大ノ便利ヲ感ズル譯デアリマス、之ニ付マシテハ不動産ノヤウナモノヲ擔保トスル貸付ヲ許シマシタ時ニハ、無盡業者ノ資金ガ固定ヲ致シハシナイカト云フモノハ一ツノヨリシテ政府ノ説明ヲ求メタノデアリマスガ、此無盡業ト云フモノハ一ツノ限ラレタル地方ニノミ其營業ヲ許サレテ居ルノデアリマス、即チ其ノ營業範圍ト云フモノハ、或府縣内ニノミ限ラレテ居リマスルカラ、無盡業者ハ其地方ノ不動産ノ狀況ニ付テハ十分ニ知識ヲ有ツテ居ルノデアリマシテ、或ハ高イ

物ヲ安ク、安イ物ヲ高ク鑑定ラスルトカ、又ハ不動産ノ處分ニ困ルト云フヤウナコトハ、從來ニナカッタサウデアリマス、却ッテ唯今申上ゲマシタ通り、從來無盡業者ガ金貸業等ヲ兼業致シテ居リマスル場合ニハ、此ノ不動産ヲ擔保トスル貸付ヲ爲シテ居ッタ方ガ多イ状態デアアルサウデアリマス、コレガ第二號ノ改正デアリマス、次ニ第三號ニ於キマシテ、現行法ニ於テハ「掛金者ニ對シ既ニ拂込ミタル掛金額ヲ限度トスル貸付」ト云フコトニナツテ居リマスガ、此無盡ニ加入スル人ノ目的ハ多クノ場合ニ於テ貯金ラスルト云フヤウナ精神デハナクシテ一定ノ纏マッタ金額ノ收入ノ入用ノ場合此無盡ニ加入スルノデアリマス、加入シタ當初ニ於キマシテ其ノ掛金額ヲ限度トスル貸付ヲ許シテ居リマシテハ、其ノ加入者ノ持ッテ居ル目的ヲ達スルコトハ出來マセスカラ、此度改正致シマシテ、契約給付金額ヲ限度トスル貸付ケラ許スノデアリマス、契約給付金額ト云フコトハ、是ハ無盡ニ加入シテ居ル者ガ何レノ時ニカ受取ル機會ガアルノデゴザイマスカラシテ、此金額ヲ限度トスル貸付ケラ致シマシテモ、少シモ危險ガナイト云フ理由ヲ以テ斯ウ云フ改正ヲ致シタノデアリマス、次ニ新ニ附加ヘラレマシタ第二項ハ「前項第三號ノ規定ニ依ル貸付金總額ハ拂込濟資本金及諸準備金ノ總額ヲ超ユルコトヲ得ス」斯ウ云フ一項ヲ附加ヘルト云フノデアリマス、唯今申シマシタ給付金額ヲ限度トスル貸付ト云フ此號ニ相當致シマスルモノハ、是ハ無擔保ノ貸付ヲ許スノデアリマス、實際上ニ於キマシテハ抵當物ヲ取ツテモ差支ハナイノデアリマスルケレドモ、法ノ精神ト致シマシテハ無擔保ノ貸付ヲ許スノデアリマス、サウ云フ貸付ガ限リモナク多額ニ上リマストキニハ、他日掛金者ニ對シテ給付金額ヲ給付致ス場合ニ差支等ガ起ツテハイケマセスカラ、無盡業者ノ手許ニアリマス資金ヲ總テ悉ク貸付ケルコトヲ許サナイコトノ方針ニ致シマシテ、唯今朗讀致シタル通り、拂込濟資本金及諸準備金ノミニ限リマシテ、掛金等ノ資金ヲ總テ貸付ニ流用スルコトヲ禁ジタノデアリマス、諸準備金ト云フコトニ付テ質問ガアッタノデアリマスルガ、是ハ外ノ會社トハ違ヒマシテ、此ノ無盡業法ニ於キマシテハ、其ノ第二十條ニ「無盡業ヲ營ム會社ハ資本又ハ出資ノ總額ニ達スル迄ハ利益ヲ配當スル毎ニ準備金トシテ其ノ利益ノ十分ノ一以上ヲ積立ツヘシ」ト云フコトガアリマスノデ、此利益ノ一ニ相當スル準備金其他、其會社ノ爲ス所ノ總テノ積立金ヲ總稱シテ茲ニハ諸準備金ト申シタノデアアルサウデアリマス、右ノ次第デアリマシテ、委員會ニ於キマシテハ慎重ニ之ヲ審議ヲ

致シマシタガ、全會一致ヲ以テ之ヲ可決イタシタノデアリマス、本議場ニ於キマシテモ委員會ノ決定通り可決確定アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵渡邊千冬君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案第二讀會ヲ開クト云フ西大路子爵ノ動議ニ、御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第三讀會ヲ開ラカレムコトヲ希望イタシマス

○子爵渡邊千冬君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開クト云フ動議ニ、御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ノ議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、本日は是ニテ散會

午前十一時十二分散會